

すぎなみで、社会教育の 一歩 を、みつけよう。

# いっぽみつけ

vol. **4**  
令和8年度  
Summer

Suginami Social Education Center . . . NEWS LETTER . . . Ippo Mikke



第73回  
杉並区

## 総合文化祭

Arts & Culture Festival

2026年9月25日(金)

10月26日(月)

休館日のため10月8日(木)を除く

会場 セシオン杉並 (杉並区梅里1-22-32)

入場料 無料 (参加費等 一部有料)

問合せ 杉並区立社会教育センター  
☎03-3317-6621



Interview----

杉並区文化団体連合会

▽「学び合いのWS」ほか事業報告

▽ for Autumn 秋 イベントカレンダー

区内文化団体が紡ぐ伝統と創造の祭典「総合文化祭」

こんにちは、  
社会教育センターです！



いっぽみっけは  
すぎなみの社会教育に  
まつわる情報をお届けします！

社会教育活動をしている区民にインタビュー



ヒト

『人生100年時代』を自分らしく、いきいきと生きるために。まちのなかで活躍する方や団体にスポットを当てご紹介していきます。

社会教育センター事業の様子をお届け



コト

年間を通じ、たくさんの「学び」のきっかけとなる場や機会をつくっている社会教育センター。それらの情報を季節ごとにお伝えします。

リズッと笑えるものから会話のネタまで



モノ

コミュニティの活性化/チームアップに役立つグッズから社会教育の現場で取り入れられているさまざまな手法まで、ランダムに情報をお届けします。



すぎなみ

## 社会教育って？

広い意味では「学校教育・家庭教育 以外の教育を“社会教育”といい、実はさまざまな学びの場や学びの機会があります。それらの場や機会へ参加することだけが学びではなく、周りの人々と関わり、仲間やつながりをつくること、誰かと学んだことを共有することも大事な学びです。社会教育には、人それぞれのカタチがあります。



杉並区立社会教育センター  
社会教育士 丹羽 有之

### わたしの いっぽみっけQ

コロナ禍の頃の話です。社会教育の核である「人と会う・対話する」ことがまったくできない状況が続きました。その中で私たちは「コロナ禍だからできない」のではなく、「コロナ禍だからこそできること」を考え、新たにパンフレットや動画を作ったり、普段ならお会いできない方にオンラインでインタビューしたりしました。制約を乗り越えるのではなく、制約を活かすこと、そのことにより社会教育のひとつの形として一歩進めたように思います。

Interview ---

すぎなみの文化・芸術の発展 伝統をつなぐ

## 杉並区文化団体連合会

はじめのいっぽ

会長職に就いたきっかけは？



## Interviewee

杉並区文化団体連合会 会長

しばた ゆうけい  
杉並区書道人協会 所属 柴田 友敬さん

数年間、役員として会議に出席する中で、前会長の体調不良を機に会長の話をしていただきました。私は最初から会長を目指していたわけではなく、きっかけは自らの希望ではありませんでしたが、引き受けるならば「疑問に思ったことは変えていこう」と思いました。会議の席の配置を変えたり見やすい名札をつくったりして、話しやすい場を考えるなど、小さなことを一つずつ見直ししながら、みなさんが気持ちよく活動できる環境づくりを心掛けています。総合文化祭も72回続いてきました（取材当時）。これを80年、もっと先へつないでいくにはどうしたらいいか、いつも考えています。

## エピソード ———— 活動する中で、一番印象的だった出来事は？

会長になってから特に印象に残っているのは、総合文化祭でいろいろな団体の活動を見て回ったことです。私は、お互いがお互いを知ることが大事だと思っています。でも実際は、自分たちの活動が忙しくて、他の団体を見る機会は意外と少ないんです。そこで私自身、できるだけ会場へ足を運びました。将棋や俳句、舞台、展示など、それぞれに工夫があり、「こんなこ

とをやっていたんだ」という発見がたくさんありました。現場へ行くと、その活動を支える人たちの想いも見えてきます。総合文化祭は作品を発表する場ですが、それだけではありません。異文化を知り、人と人がつながる場でもあると思っています。今年の文化祭にいらした際には、ぜひいろいろな会場に足を運んで、新しい発見をしていただけたらうれしいですね。

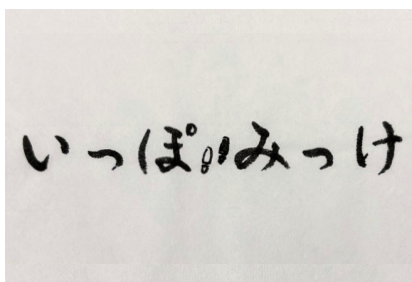
## あたらしい自分みつけ ———— 活動前と比べて、変わったなと思うことは？

会長になってから、以前よりいろいろな分野の方と話す機会が増えました。そうすると、会議の中よりも、片付けや活動をしながらのさりげない一言に本音があることが多いんです。「こうなったらいいな」「こういうことで困っているんだ」という声を聞くと、できることはないかなと考えるようになりました。私は昔から、人の話をちゃんと聴きたいと思ってきました。話を聴き合える関係があれば、新しい意見も出てきます

し、気持ちよく活動も続けていけると思うんです。総合文化祭も、その積み重ねの先にあるものだと思っています。杉並区には美術館がないので、いつか誰もが気軽に作品を見たり発表したりできるギャラリーのような場所がつけられたらうれしいですね。「文化を五感で感じることを大切にしながらみなさんに喜んでもらえることを続けて、文化を楽しむ人が増えていくことを願っています。

## 杉並区文化団体連合会

区内に文化芸術に親しむ機会を提供し、杉並区の文化の発展に貢献することを目的として昭和38年に設立されました。現在は23団体が活動しています。毎年9月下旬に始まる総合文化祭（区・区教育委員会と共催）では、展示・舞台・競技会など多彩な企画を実施しています。



◀書道家としても活躍される柴田さん。

「止め・はらいなど筆の流れがわかる、活字ではない字にも触れてほしい」と、今号本誌のタイトルを書いてくださいました。

## 社会教育センターの事業報告

### 54ブース出展！大人塾まつり

5月30日(土)、すぎなみ大人塾の卒塾生が中心となって企画する「大人塾まつり with 子ども2026」が開催されました。体験や展示、演奏など、地域で活動する団体が出展し、約700名の来場者でにぎわいました。今年のテーマは「みんなの居場所 あなたの出番」。



会場内には特設フロアが設けられ、地域で居場所づくりに取り組む団体の活動紹介や交流も行われました。子どもから大人まで、世代や立場を超えた出会いと学びが広がるイベントになりました。

ワークショップ

### 学び合いのWS「地域活動のリアル」Vol.5

7月11日(土)に開催した学び合いのWSでは、地域で活動する人やこれから始めたい人が集い、「ラウンドテーブルミーティング」という手法を用いて、お互いの活動経験や実践事例を語り合いました。今回で5回目となるWSには、高校生から70代まで幅広い年代の方々、総勢49名が参加。

学校・教育関係者やまちづくり実践者、福祉や居場所事業の運営者に加え、社会教育事業の受講者や阿波踊りの連長にもお話しいただき、地域を多角的に捉える機会となりました。



### 杉並で暮らす外国人のための にほんご教室

5月11日(月)から7月17日(金)まで、にほんご教室の1期が実施されました。対面クラス44名、オンラインクラス20名の計64名の受講があり、ネパール、中国、フランスなどさまざまな国の方が参加しました。日常生活に必要な日本語の会話や読み書きを学ぶとともに、参加者同士の交流も生まれ、地域とのつながりを広げる機会となりました。

2期は9月25日(金)から始まります。



## 編集・発行

### 杉並区立 社会教育センター

〒166-0011 杉並区梅里1-22-32 セッション杉並 2F

☎03-3317-6621



暑い日こそ  
自分を労わる  
工夫を。

for Autumn  
**秋**

## Event Calendar

秋は、実りの季節。

いっぽ歩けば、楽しい発見がたくさん。  
ぜひご参加ください。

### 9月・・・

- ボランティアセミナー  
知的障害者にとって『自分で決める』とは？  
@セッション杉並  
13日(日) 14:00～16:30
- 地域活動のプレゼンテーション力UP！  
～伝えたいことを『わかりやすく伝える』ために～  
@セッション杉並  
16日(水) 18:00～20:30
- 観望会&トークイベント  
いまだから知る「月ってなあに？」-人類、再び月へ-  
@セッション杉並  
19日(土)、20日(日)
- 杉並区総合文化祭  
@セッション杉並  
25日(金)～10月26日(月)  
\*休館日のため10月8日(木)は除く

### 10月・・・

- すぎなみ みんなの大運動会  
@杉並第十小学校  
25日(日) 11:00～15:30

## 絶賛、募集中！

すぎなみ大人塾 はじめの一歩コース



申込期間：  
9月13日〆切



▲詳細(9月1日公開)



◀ 社会教育センターに  
ついてもっと知りたい方へ  
(区公式HP)